

☆ 令和7年度の後期がはじまりました！ ☆

秋休みが終わり、昨日10月14日（火）より令和7年度後期が始まりました。残暑の厳しい9月、そして季節外れの暑さが続く10月の前半でしたが、今後は暑さも和らぎ、穏やかな季節になってくることでしょう。後期は気候もよく、学校での様々な活動に取り組みやすくなります。来週には、5年生の自然教室も行われます。スポーツの秋、読書の秋など自分の好きなことに挑戦する姿がたくさん見られると嬉しいです。

児童の自己肯定感を高める後期に！

“今の自分が好き”、“自分にはよいところがある。”と思えるように、子ども達の自己肯定感を高めていくことが、本校の重点目標です。前期児童のアンケートでは、“今の自分が好き”の項目で「そうだ」「だいたいそうだ」を合わせると88%でした。学校では様々な活動の中で、児童に役割をもたせ、達成感を味わわせたり、学習の中で友達と交流し、「わかった、できた。」という思いをもたせたりするなどして自己肯定感を高めています。ご家庭や地域でも、児童のがんばりを“こんなよさがあるよ”という価値づけをしながら褒めていただいたり、役立つことをしたときに“ありがとう”、“嬉しいよ”などと感謝の言葉をかけていただいたりすることをどうぞよろしくお願いします。

☆ 貴重な体験ができることに感謝 通学合宿 ☆

9月24日（水）～26日（金）の3日間、太宰府小学校校区の通学合宿が今年度も、校区自治会長様方を中心に、校区民生委員の方々、太宰府市青少年育成市民の会、太宰府市社会教育課、ボランティアの学生さん方の協力を得て、実施されました。以前は、県の事業として多くの地域で通学合宿が実施されていましたが、今では太宰府小学校校区を含め、わずかな地域でしか実施されていないそうです。通学合宿を長く続けて来られたのは、受け入れてくださる地域の土壌（人）があること、使用できる場所（太宰府天満宮所有の紫藤館をお借りしています）があることのおかげです。現代社会では子ども達の間に、様々な“体験格差”があると言われています。昔は皆が当たり前に行っていた体験が、今は中々できない子ども達がいるということです。その格差を埋める体験の場を提供してくださる一つが地域です。通学合宿も一つの体験の場です。この体験ができる太宰府小学校の児童は幸せですね。

今年の通学合宿は、4年生から6年生までの児童18名が参加しました。まず、開校式があり『あたりまえ10ヶ条』を教えてもらいました。そして班ごとに、夕食のカレーライスやサラダを作り、食事、宿題、入浴をし、就寝です。翌朝は、身支度、朝食の後、皆で並んで登校です。下校後は、掃除、夕食準備と続き、自分のことは自分で、また班で協力して行う3日間でした。閉校式では、修了証を手にし、少したくましくなった児童の晴れやかな表情が見られました。関係各所の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



【合宿中の児童の様子】